

日本放射線腫瘍学会 日本がん看護学会 共催
第7回がん放射線治療 看護セミナーのご案内

開催日程 : 2008年10月4日(土) 9:30~17:00

開催場所 : ベルサール神田(東京)

東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル

第7回テーマ: 骨盤腔への放射線治療を受ける患者の看護; パート2

ー前立腺がんへの照射を中心にー

募集方法 : JASTROホームページ <http://www.jastro.jp/> から受け付け、応募が募集人員に達した時点で締め切る。

受付開始 : 2008年8月25日(水) 正午

募集人数 : 350名

参加費(事前) 5,000円(日本放射線腫瘍学会もしくは日本がん看護学会会員)、8,000円(非会員)

(当日) 6,000円(日本放射線腫瘍学会もしくは日本がん看護学会会員)、9,000円(非会員)

はじめに

がん医療の中で放射線治療は根治から症状緩和まで多くの患者にとって重要な役割を担っている。放射線治療を受ける患者が増加する中で、「放射線」に対する根強い誤解や知識不足による不安を抱いている患者も多い。このような不安を和らげるために、看護師が事前にわかりやすい言葉で生活に即した指導を行うことは有用である。これは患者のセルフケアを促進することにもつながる。また、放射線治療を受ける患者は他のがん治療と同様に種々の有害事象を経験する。しかし、有害事象の多くは適切なアセスメントと効果的なケアの提供で症状を予防、もしくは低減させることが可能となる。一方、放射線治療には放射線治療医や診療放射線技師など多くの医療者が関わることも特徴のひとつである。医療者間の患者を中心としたコミュニケーションを図るために、看護師が重要な役割を担っている。

これらのことを看護師が実行するためには知識が必要であるが、その知識は専門的で広範囲に及び、臨床では習得する機会が少ない現状である。そこで、患者が安心して適切な放射線治療を受けられるように、看護師への放射線治療の知識の普及を目的として本セミナーを継続して開催している。

第7回セミナー開催にあたって

第1回及び第2回はほとんどの患者が経験する「皮膚炎」を、第3回からは参加者アンケートで要望の高かった「口腔・咽頭粘膜炎」「骨転移」をテーマとして開催し、いずれも参加者から高い評価を頂いた。今回の「骨盤腔への照射」も参加者アンケートの上位項目からテーマを決定した。

骨盤腔には複数の臓器が存在し、照射の際には多様な有害事象が観察される。また、有害事象は排泄やセクシャリティに関連するため患者にとっては症状を訴えにくいという側面を持ち、このような患者へのケアに看護師の果たす役割は大きい。骨盤腔への照射は、パート1として「子宮頸がん」を、今回は「前立腺がん」を取り上げる。

本セミナーでは、放射線治療を受ける患者への適切なアセスメントならびに効果的な看護実践のために必要な骨盤腔への放射線治療についての知識と情報を提供する。

セミナーの目的

がん放射線治療に関する看護の質向上を図るために、適切なアセスメントならびに効果的な看護実践に必要な知識を提供する。

第7回セミナーの到達目標

- 1) 前立腺がんへの放射線治療の特徴、作用・有害事象出現のメカニズムを含む基礎知識を理解する。
- 2) 放射線治療の基礎知識および骨盤腔への放射線治療を受ける前立腺がん・直腸がん患者が抱える問題について理解することにより、適切なアセスメントならびに効果的・効率的な看護実践を結び付けて考えることが出来る。

セミナーの構成

- 1) 放射線治療に関する基礎知識、疾患の病態と治療法、看護ケアについて概説し、最後のセッションは参加者に提示してもらった症例や質問を講師や他の参加者を含めてディスカッションする。
- 2) 最後のセッションの実施にあたり「骨盤腔へ放射線治療を受ける前立腺がん患者」の看護ケアに苦慮した症例と質問等について、当日会場にて配布するアンケートを記入後に回収する。

カリキュラム

時間	内容	講師	備考
～9:30	Information	(総合司会；午前) 北原 規 国際医療福祉大学三田病院放射線科 教授 (総合司会；午前) 立石久留美 東京医療センター 看護師長	
9:30～9:35	開会の辞	土器屋 卓志 埼玉医科大学放射線腫瘍科教授	5分
9:35～10:25	1. すぐに役立つ放射線治療の原理 放射線治療ががんに効く理由、放射線治療の有害事象について前立腺がん注目し分子～人体レベルで解説する。	茂松 直之 慶応義塾大学 放射線科 准教授	50分
10:25～10:30	休憩		5分
10:30～11:00	2. 前立腺がんの全体像 前立腺がんの臨床的特徴などについて説明する。	青木 学 慈恵医科大学放射線科 講師	30分
11:00～11:05	休憩		5分
11:05～11:55	3. 前立腺がんへの放射線治療；外照射 前立腺がんへの外照射の特徴と照射方法について最新の知見を基に、急性および遅発性反応を含めて概説する。	溝脇尚志 京都大学医学部付属病院 放射線治療科 講師	50分
12:05～12:45	ランチョンセミナー（ノバルティスファーマー株） 今、骨の健康を考えるー骨粗鬆症から骨転移までー	座長：萬 篤憲 (東京医療センター放射線科部長) 演者：鈴木啓悦 (千葉大学 泌尿器科 准教授)	
		(総合司会；午後) 喜多みどり 都立府中病院 放射線科 部長 (総合司会；午後) 濱口 恵子 癌研有明病院 副看護部長	
13:00～13:50	4. 前立腺がんへの放射線治療；小線源治療 小線源治療の特徴について概説し、前立腺がんの具体的な照射方法、有害事象などを解説する。	萬 篤憲 東京医療センター 放射線科部長	50分
13:50～13:55	休憩		5分
13:55～14:45	5. 看護ケア；外照射 前立腺がんの外照射を受ける患者の急性および遅発性有害事象のアセスメント、看護計画立案、効果的・効率的な看護ケアを具体的に説明する。	川北 恵子 川崎医科大学病院 看護師	50分
14:45～14:50	休憩		5分
14:50～15:40	6. 看護ケア；小線源治療 前立腺がんの小線源治療を受ける患者の治療時の看護について概説し、有害事象へのケアを含めた効果的な看護ケアについて具体的に解説する。	菊野 直子 東京医療センター 看護師	50分
15:40～15:50	休憩		10分

15:50～16:50	ディスカッション・質疑応答 患者の看護問題とその解決へのアプローチについて、参加者から回収した症例と質問を中心に講師と受講者でディスカッションする。	(司会) 角 美奈子 国立がんセンター 放射線科 医長 (司会) 立石久留美 東京医療センター 看護師長 (司会) 根本建二 山形大学 放射線科 教授	50分
	閉会の辞	小松 浩子 聖路加看護大学 成人看護学教授 日本がん看護学会 理事	

予告

	日程	開催地とテーマ
第8回	09年 2月21日(土)	大阪 国際交流センター：乳がんへの放射線治療
第9回	09年 10月 予定	東京 未定：乳がんへの放射線治療